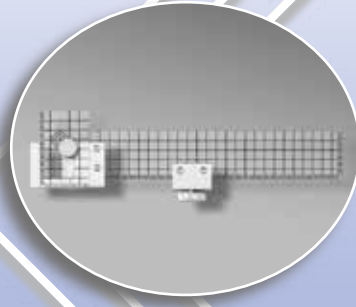


TOPアナライザー

インターディシプリナリー・
アプローチの
診断と補綴物作製に



水平咬合平面板



外耳口記録板



正中矢状平面指示板

歯科治療においてインターディシプリナリー・アプローチの重要性が叫ばれている昨今、各専門医との診断の共有化や技工士との連携を獲得することが必要となっています。

審美的診断と機能的診断の両方を満たす模型分析方法を用いて、各専門医が治療計画立案の段階からディスカッションを可能とする、審美・機能的咬合平面板がTOPアナライザーです。使い方はとてもシンプル。患者さんにも大きな負担を与えずに必要な情報を取得出来ます。

審美・機能的咬合平面板

TOPアナライザーの主な特徴と利点

- ① TOPアナライザーは審美的基準平面だけでなく、顎関節から前歯までの距離を平均値咬合器と同程度の精度で記録できます。
- ② 前歯部の正中だけでなく、臼歯部の正中まで考慮しているため、歯列弓の変形や歪みが少なく記録できます。
- ③ 顎切除手術を必要とするような顎変形の症例から無歯顎症例まで、すべての症例に有効です。



TOPアナライザー
装着完了



製造元 株式会社 オオタキ

製造販売元 株式会社 東京歯材社

〒110-0001 東京都台東区谷中2-5-20

TEL.03-3823-7501 FAX.03-3823-7516

<http://www.shizaisha.co.jp>

届出番号: 13B2X10261000011号

一般的名称: 歯科用顔弓

医療機器の分類: 一般医療機器 (クラスI)

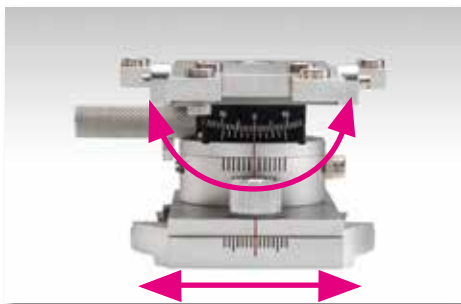
TOPアナライザーサポート



TOP アナライザーを咬合器にマウントする際に使用します。
 (別売りのパナデント用インサイザルテーブル①、パナデント用インサイザルピン②)のご使用をお勧め致します)
 また、顔貌写真などを基に咬合器とTOPアナライザーの位置関係を微調整したい場合があります。このような時にTOPアナライザーサポートの微調整機構を使えば、

左右、上下、回転、傾きなどの微妙な修正を正確に行うことが可能となります。

パナデント咬合器用のマウンティングプレートが標準ですが、別売りオプションのKaVoプロッター用マウンティングプレート③を使用すれば、KaVoプロッター咬合器にも使用することが可能です。



TOP アナライザーサポート (正面)

ロックネジを緩めて左右、水平面の左右の傾きと回転を微調整することが可能です。



TOP アナライザーサポート (側面)

天板面の前後の傾きを微調整することが可能です。



TOP アナライザーサポート (上面)

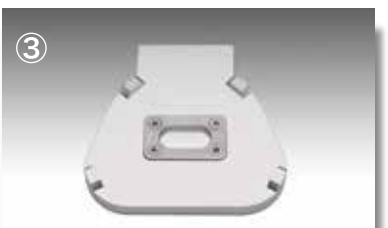
TOP アナライザーと TOP アナライザーサポートをパナデント PCH 型咬合器に装着したところ です。



① TOP アナライザーサポート
パナデント用インサイザルテーブル



② TOP アナライザーサポート
パナデント用インサイザルピン



③ TOP アナライザーサポート
KaVo プロッター咬合器用マウンティングプレート



株式会社 東京歯材社

<http://www.shizaisha.co.jp>

商品センター 〒110-0004 東京都台東区下谷3-13-5 ☎(03)3874-5077(代) FAX(03)3874-5091
 本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-5-20 ☎(03)3823-7501(代) FAX(03)3823-7516